

Aomori Prefectural Hachinohe Technical High School



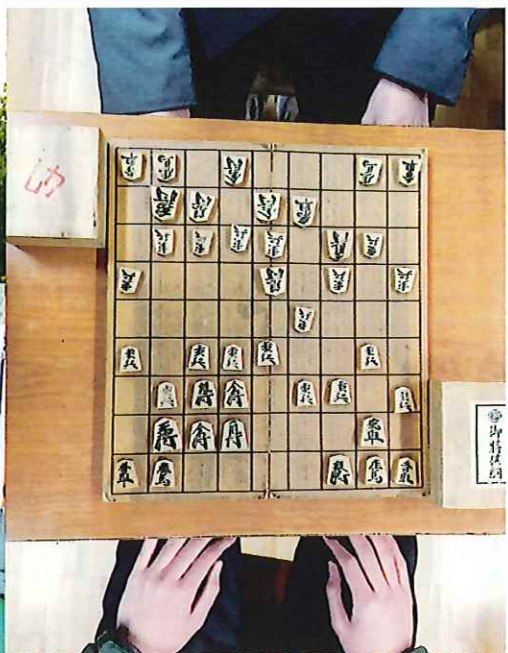
青森県立八戸工業高等学校

学校案内

部活動

■文化部■

- 科学
- 写真
- 美術
- 吹奏楽
- 放送
- 囲碁
- 将棋
- ボランティア

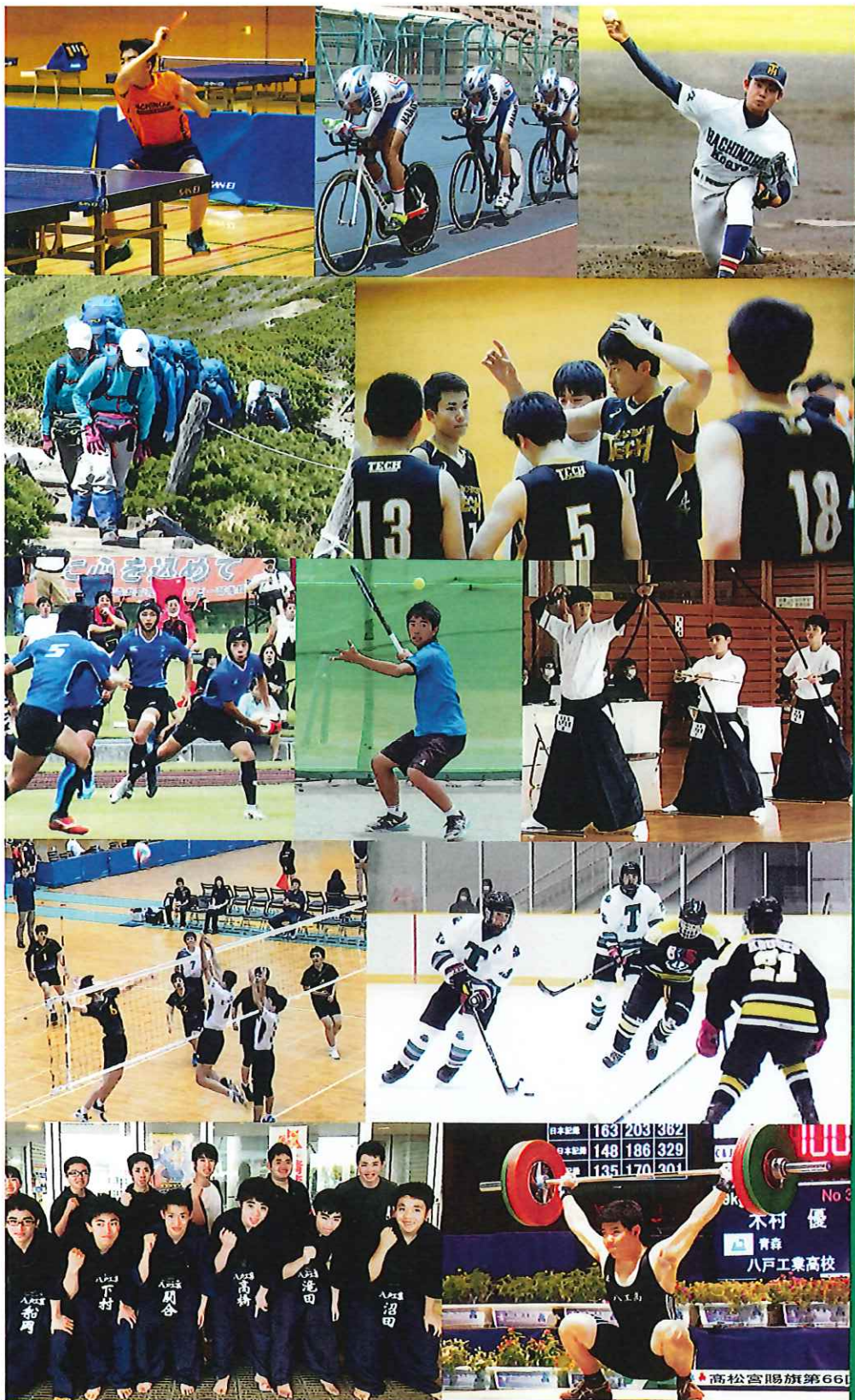


好きなことだと、時間も忘れてしまう。限りないチャレンジ精神で、豊かな感性を創り出そう。

■工業部■

- 機械加工
- 木材加工
- 測量
- 電気工事
- マテリアル
- 電子回路
- ロボティクス

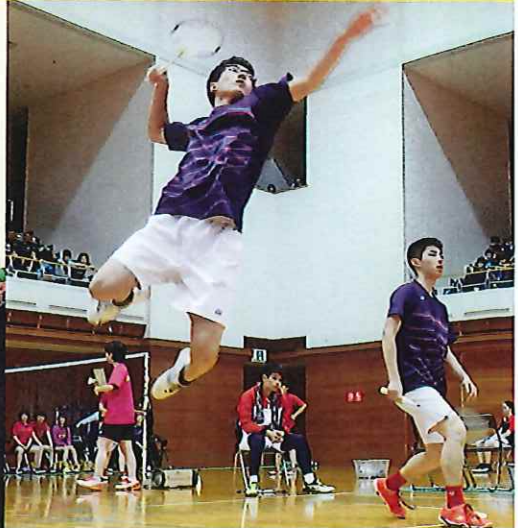
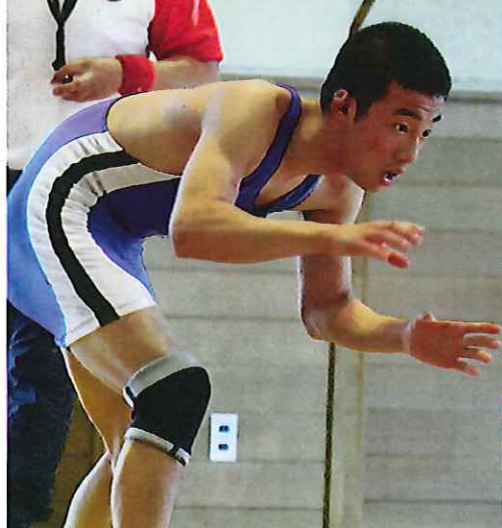




■運動部■

- アイスホッケー
- 卓球
- 自転車競技
- 硬式野球
- レスリング
- ウェイトリフティング
- 弓道
- 山岳
- 体操
- ラグビーフットボール
- 剣道
- 柔道
- バスケットボール
- サッカー
- 陸上競技
- バレーボール
- バドミントン
- テニス
- 応援団

創立以来、東北・全国大会の出場を果たすなど一人一人が高い目標に向けてチャレンジしています。



Enjoy SCHOOL LIFE

4

入学式・1学期始業式
対面式・健康診断
前期生徒総会

5

開校記念日
交通安全教室
春季大会・避難訓練

6

高校総合体育大会
ネットトラブル防止教室
遠足・1学期末考査

7

大運動会
求人票閲覧開始
1学期終業式

8

2学期始業式
基礎学力テスト

9

インターンシップ
就職選考開始
2学期中間考査

10

体育大会・避難訓練・八工祭
弁論大会・薬物乱用防止教室
企業PR説明会

11

修学旅行
立会演説会・役員選挙
2学期末考査

12

後期生徒総会
2学期終業式

1

3学期始業式
基礎学力テスト
生徒研究発表会

2

学年末考査
特別賞授与式

3

卒業式
入学者選抜・合格発表
修了式・離任式



材料技術科

鉄を極める

材料技術科は「鉄を極める」をモットーに、工業材料の中心的存在である鉄鋼材料の性質や加工方法（溶接や切削）を中心に学習します。その他、セラミックス等について学習し、これから重要になる新素材（エネルギー変換材料、環境に調和した素材）の研究をしています。また、八戸市の新産業指定都市制定と共に誕生した「金属工業科」を前身にしているため、八戸地区の素形材産業に人材を多く輩出しています。

- 取得できるおもな資格・検定等
金属熱処理技能士、機械検査技能士、
機械保全技能士、危険物取扱者（甲種・
乙種）、アーク溶接特別教育、ガス溶接
技能講習、基礎製図検定



鉄を
極める

電子科

便利で快適な生活の基盤

スマートフォンやテレビなどの通信機器。自動車やロボット・家電製品に欠かせないコントロール装置。家庭や会社・工場などで見かける電気を使う製品の全てに電子回路が組み込まれています。電子科の生徒は電子回路を作るための基礎やコントロールに利用するコンピュータのハードウェアとソフトウェアを勉強し、卒業後は通信系の会社はもちろん自動車メーカーに就職したり、大学で更に高度な知識・技術を習得しています。

- 取得できるおもな資格・検定等
工事担任者、第二種電気工事士、陸上
特殊無線技士、危険物取扱者、パソ
コン利用技術検定、情報技術検定、計算
技術検定、品質管理検定（QC検定）



教育方針

教育基本法に基づいて『**自主と協調・勤労と創造**』を校訓とし、健全な心身の発達を基盤として、豊かな心を育み自らの生き方を主体的に切り拓く逞しい人間性の育成をめざす。

自主と協調
勤労と創造
校訓

学校の沿革

昭和19年 4月 八戸市立工業学校創立
機械科および工業化学科設置

昭和20年 5月 土木科設置

昭和23年 4月 学制改革により
八戸市立工業高等学校となる

昭和31年 3月 県移管により
青森県立八戸工業高等学校と改称

昭和34年 4月 電力科設置

昭和37年 4月 電力科を電気科に改称

昭和38年 4月 金属工業科設置

昭和44年 4月 電子科設置
定時制の課程(夜間)
機械工作科、電気工作科設置

昭和48年 4月 定時制の課程(夜間)
機械工作科、電気工作科を
機械科、電気科に改称

平成 元年 4月 情報技術科設置

平成 2年 4月 電子機械科設置

平成 6年 4月 金属工業科を材料技術科に改称

平成18年 4月 定時制の課程(夜間)機械科、電気科を統合し、工業技術科となる

平成21年 4月 工業化学科、募集停止となる

平成25年 4月 土木科を土木建築科に改称し、土木コース、建築コース別の募集とする

令和 3年 4月 情報技術科、募集停止となる
電子機械科、募集停止となる
土木建築科、募集停止となる
土木科設置
建築科設置

機械科

すべての産業に貢献するのが機械科です

「創造からものづくり」

機械科では機械に関する設計、製図、機構、自動制御などの基礎的な知識、技術を学習します。将来は各種生産機械のオペレーターや設計者として活躍できるよう、実験、実習を通して「思いやり」「総合的な判断力」のある技術者を育成しています。いろいろな機械操作を学び、ものづくりにチャレンジしましょう。

- 取得できるおもな資格・検定等
危険物取扱者、機械製図検定、計算技術検定、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、パソコン利用技術検定、技能検定 3級・2級
(機械保全・機械加工・機械検査)
アーク溶接適格性検査
(基本級A-2F)

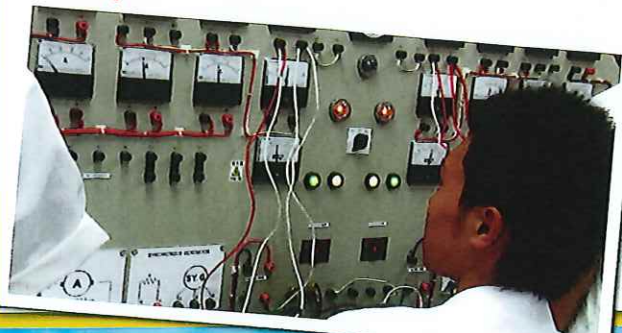


電気科

暮らしを支える電気を学ぶ

電気は私たちの生活にはなくてはならないものであり、あらゆる産業の根幹を成すものです。電気技術者は社会の様々な場所で必要とされています。電気科では、電気に関する基礎的な知識・技術を習得させるとともに、資格取得を通して、自らが学ぶ意欲と主体性を身につけた広く産業界で活躍できる技術者を育成します。

- 取得できるおもな資格・検定等
第二種電気工事士、第一種電気工事士(免状取得には実務経験が必要)、第三種電気主任技術者、2級電気工事施工管理技術検定(学科試験)、危険物取扱者、計算技術検定、パソコン利用技術検定





土木建築科

「土木建築科」から「土木科」と「建築科」へ
 令和3年度より「土木科」と「建築科」の募集を始めました。
 それぞれの学科の説明は「土木科」と「建築科」をご覧ください。

情報技術科

情報技術に豊かな明日をたくして

コンピュータがあらゆるところで活躍している現代、スマートフォンをはじめとした通信ネットワーク技術・コンピュータシステム技術は現在の生活に欠かせないものとなっています。情報技術科では、コンピュータに関する基礎的な理論、利用技術をハードウェア・ソフトウェアの両面から学び、システム開発者やシステム管理者を目指す教育を行っています。

- 取得できるおもな資格・検定等
 基本情報技術者試験、ITパスポート試験、情報技術検定、計算技術検定、パソコン利用技術検定



電子機械科

電子機械科は機械・電子情報を学びます

人と同じように働くことができる「ロボット」は、工場で自動車・家庭用電化製品など、あらゆるものを作っています。このため、「設計する」「加工する」「動きをコンピュータで制御する」などの知識を身につけた技術者が必要になりました。このような時代に生まれたのが電子機械科なのです。

- 取得できるおもな資格・検定等
 技能検定（シーケンス制御・機械保全・機械加工・機械検査）、第二種電気工事士、危険物取扱者、機械製図検定、計算技術検定、情報技術検定、パソコン利用技術検定



土木科

安全で豊かな暮らしを支えるのが土木の仕事です。

道路・鉄道・港湾・空港などは、社会基盤施設(インフラストラクチャー)とよばれ、日常生活や産業活動に必要不可欠なものです。土木は私たちの暮らしを支え、安全で豊かな社会づくりに、貢献しています。土木科では、測量や設計などの基礎的な知識・技術を学習します。また、学習や資格取得をとおして、チームワークや自ら学ぶ姿勢を身につけます。土木系公務員や企業、大学への進学など、将来の技術者の育成をめざします。

- 取得できるおもな資格・検定等
 - 測量士補
 - 2級土木施工管理技術検定(第1次検定)
 - 計算技術検定
 - パソコン利用技術検定
 - 危険物取扱者



建築科

自分の仕事が形に残る醍醐味、住みよい町造りに貢献「建築科」

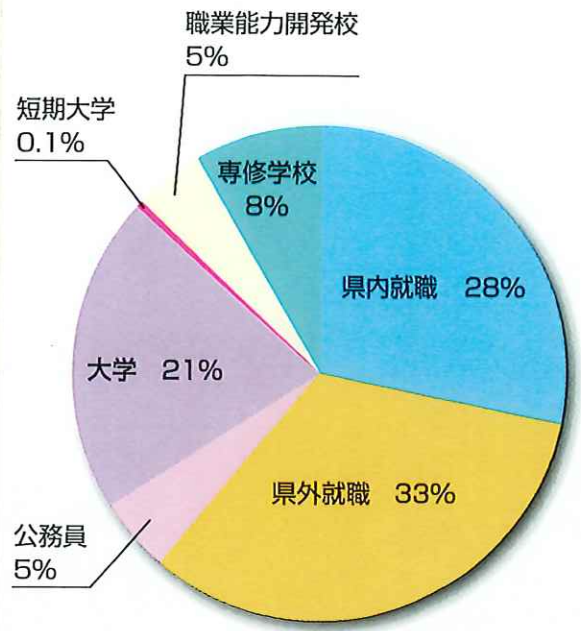
建築とは、人々の生活のために快適な環境(空間)をつくることであり、多くの人を豊かに、そして笑顔にできるものです。また、ゼロからひとつの建築物をつくり上げる感動は、建築でしか味わうことができない醍醐味です。自分のやった仕事が形となる建築は、とてもやりがいのある仕事です。建築科では、建築物をつくり上げるための設計方法や施工の仕方などについて幅広く学びます。また、大工技能の学習にも力を入れています。

- 取得できるおもな資格・検定等
 - 2級建築施工管理技術検定(第1次検定)
 - 建築大工技能士(2級、3級)
 - 建築CAD検定(2級、3級)
 - 福祉住環境コーディネーター(3級)



進路状況

(令和2年度)



年度	県内就職	県外就職	公務員	大学	短期大学	国立高専編入	職業能力開発校	専修学校	その他	計
30	59	98	9	51	5	2	3	14	1	242
1	60	97	19	40	0	0	4	19	2	241
2	68	79	12	50	1	0	11	20	0	241
計	187	274	40	141	6	2	18	53	3	724

地域社会に卒業生を輩出している 八戸工業高等学校





交通案内

- JR八戸駅下車 車約20分
又は、バスセンター行き
「下組町」バス停下車徒歩5分
- JR本八戸駅下車 徒歩約10分
又は、ラピア行き
「工業高校前」バス停下車徒歩約1分



青森県立八戸工業高等学校

〒031-0801 青森県八戸市江陽1-2-27 TEL 0178-22-7348 (代) FAX 0178-43-2653
 進路指導部直通 TEL 0178-22-8594 FAX 0178-22-8546
 ホームページアドレス <http://www.hachinohe-th.asn.ed.jp>